

NO. 9 事 業 名 森林基幹道開設事業（国補）  
箇所・地区名 富士東部（南）線

平成20年度 公共事業等再評価調書

1. 再評価調書

(区分) 国補・県単

事業名	森林基幹道開設事業（国補）			箇所・地区名	富士東部（南）線		所在地	上野原市秋山尾崎 南都留郡道志村竹之本	事業主体	山梨県												
当 初	計画期間	S58～H19	変 更 後	計画期間	S58～H27	—	⑤再評価時の評価状況〔見直し継続〕 事業の進捗を早める必要があり、森林所有者の合意形成等事業の進め方の見直し、コスト縮減のための状況に応じた規格・構造の見直しを行った上、継続して実施し平成27年度までの完成に努められたい。（H15再評価時）															
(1) 事業の概要						(2) 評価項目〔事業を巡る社会経済情勢等の変化〕																
①事業目的及び効果 本路線は、上野原市秋山尾崎と、道志村竹之本を結ぶ生活関連林道であり、秋山川流域及び道志川流域の林道が整備されていない地域の広大な森林を管理経営する森林基幹道である。 利用区域1,285haのうちスギ、ヒノキ等の人工林は約61%であり、これらの森林を適正に管理し、資源を循環利用することはもちろんのこと、国土保全、水源かん養等の森林の多面的機能を持続的に発揮させる森林整備の基盤となる骨格的な林道である。 また、国道413号線と県道四日市場上野原線を連絡することにより広域的な地域間交通の利便性の向上や、災害時の迂回路としての活用など、山村地域の振興、活性化、災害対策に寄与する。						①地域・住民の意向状況 上野原市秋山、道志村は隣接しているものの、他地域を大きく迂回しての往来を余儀なくされている。広大な森林は、公益的・経済的な恵みを地域住民にもたらしたが、近年の林業を取り巻く情勢の悪化は、当圏の林業経営にも重大な影響を投げかけている。 本事業は地元住民の悲願であり、市及び村議会、住民から早期に完成するよう強い要望がある。 (上野原市長、道志村長より文書による意見聴取 H20.5.9)																
②事業概要 森林基幹道 計画延長 14,400m 幅員 5.0m 利用区域面積 1,285ha 森林資源蓄積量 75,348m <sup>3</sup>						②産業・経済情勢 なし。																
③全体計画 <table border="1"><tr><th></th><th>平成19年度以前</th><th>平成20年度</th><th>平成21年度以降</th></tr><tr><th>延長(m)</th><td>10,538</td><td>430</td><td>3,432</td></tr><tr><th>事業費(百万円)</th><td>2,966</td><td>160</td><td>1,824</td></tr></table>							平成19年度以前				平成20年度	平成21年度以降	延長(m)	10,538	430	3,432	事業費(百万円)	2,966	160	1,824	③国等の方針変更 なし。	
	平成19年度以前	平成20年度	平成21年度以降																			
延長(m)	10,538	430	3,432																			
事業費(百万円)	2,966	160	1,824																			
④特記事項 本路線は、大月市、旧上野原町、旧秋山村、道志村が設立した「林道富士東部線開設促進同盟会」の要望により、昭和58年度に事業の採択を受け全体計画を樹立し、同年度に工事着手した。						④上位計画・関連事業計画等の変更 ・山梨県林道網整備計画（平成17年3月） ・山梨東部地域森林計画（平成11～20年度）																
⑤自然環境条件等の変化 なし。						⑤自然環境条件等の変化 なし。																
⑥その他 なし。						(3) 評価項目〔再評価時点の費用対効果分析〕																
						・事業採択時計画における事業全体B/C 未算出 ・再評価時計画における事業全体B/C 未算出 ・再々評価時計画における事業全体B/C 1.10 ・再々々評価時計画における事業全体B/C 1.13 7,413,807千円（効果額）÷ 6,588,519千円（費用計）= 1.13 林野公共事業における事前評価マニュアルにより算出。 事業採択基準値1.00以上																

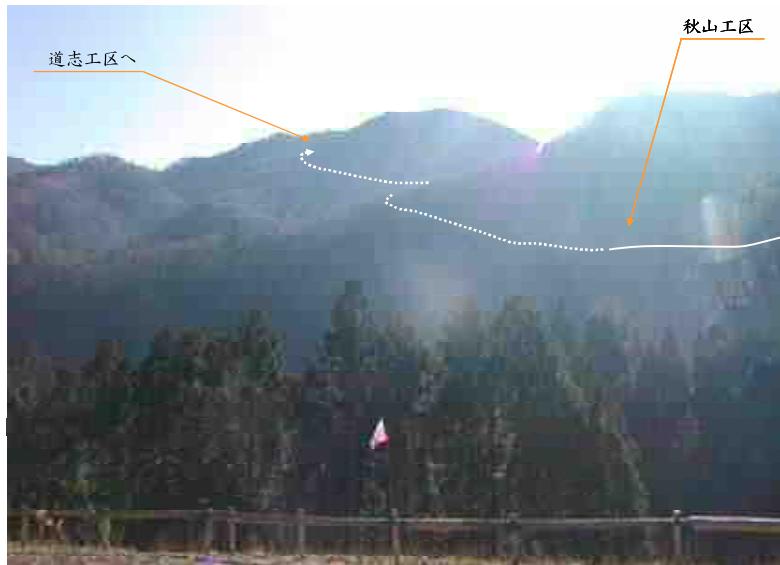
## 2. 再評価調書

(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]									(5) 今後の事業執行上の問題点 なし。																																																									
①計画変更等の概要									⑥今後の事業の進捗の見込み 今後も計画どおり事業の進捗が図れる見込みである。																																																									
施工箇所の地形が急峻で、また地質も脆弱なため、路側構造物及び法面保護工等にかかる事業費がかさんだことと、権利関係が複雑なため用地交渉が難航し進捗が遅延したため、平成12年度に事業費の増及び計画期間の延長を行った。									⑦事業計画の変更の見込み・可能性 なし。																																																									
②施工済みの事業内容 全体計画のとおり。									⑤評価項目 [コスト縮減の可能性] 地形に合った平面・縦断線形をとり、切盛土量の均衡、及び法面、路側構造物等を縮小する。また急峻な地形においては路肩の縮減を行うなど、総合的なコスト縮減に努める。																																																									
③進捗率  (整備済計 10,968m／全体 14,400m) <table border="1"><thead><tr><th></th><th>H15*</th><th>H16</th><th>H17</th><th>H18</th><th>H19</th><th>H20</th><th>H21</th><th>H22</th><th>H23</th></tr></thead><tbody><tr><td>計画</td><td>62</td><td>65</td><td>68</td><td>71</td><td>74</td><td>77</td><td>80</td><td>84</td><td>87</td></tr><tr><td>実績</td><td>62</td><td>64</td><td>67</td><td>70</td><td>73</td><td>76</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr></tbody></table> <table border="1"><thead><tr><th></th><th>H24</th><th>H25</th><th>H26</th><th>H27</th><th colspan="4">算出方法</th></tr></thead><tbody><tr><td>計画</td><td>90</td><td>94</td><td>97</td><td>100</td><td colspan="4">経過年数／計画年数×100</td></tr><tr><td>実績</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td colspan="4" rowspan="2">実施済延長／計画延長×100 (H20 は見込み)</td></tr></tbody></table> *再々評価実施年度										H15*	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	計画	62	65	68	71	74	77	80	84	87	実績	62	64	67	70	73	76	—	—	—		H24	H25	H26	H27	算出方法				計画	90	94	97	100	経過年数／計画年数×100				実績	—	—	—	—	実施済延長／計画延長×100 (H20 は見込み)				⑥評価項目 [代替案立案の可能性] 事業の目的を達成するためには当路線の開設以外に方策はない。
	H15*	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23																																																									
計画	62	65	68	71	74	77	80	84	87																																																									
実績	62	64	67	70	73	76	—	—	—																																																									
	H24	H25	H26	H27	算出方法																																																													
計画	90	94	97	100	経過年数／計画年数×100																																																													
実績	—	—	—	—	実施済延長／計画延長×100 (H20 は見込み)																																																													
④事業の進捗が順調でない理由 概ね計画どおりの進捗となっている。									⑦所管部の今後の方針 (継続)・見直し継続・その他( ) 概ね計画どおりの進捗となっていることから、今後もコスト縮減に努めながら事業を継続する。																																																									

省略

3. 添付資料シート(1)

□現況等写真



起点側(上野原市)からの計画地遠景



林道沿線における収穫箇所

3. 添付資料シート(2)

□現況等写真



林道沿線における森林整備の状況



林道先線の要間伐林の状況